

# 『子どもが自ら考え、動き出す学ぶ環境の作り方』

深谷圭助 講談社 2020.4

著者は、これからの時代に求められる能力、人生で成功する力として「自己プロデュース力」が必要だと提言しています。そのための学びのプロセスを明言しているのが本書です。

## ◆子どもが「勉強嫌い」になるメカニズム

\*学習内容にだけこだわる親

→つまずいてしまうと→「やりたくないけど、親にやらされている」

→「学びの動機づけ」ができていないために、勉強しなくなる

\*学習のフォローを一切しない親

→怒られていても理由が分からない→何からどう勉強したらいいか？

→勉強しない+怒るを繰り返す → 勉強は嫌なもの

◆「十歳の壁」を迎えるまでに、「自己肯定感の根幹（自分には絶対的な安全基地があり、絶対的な味方がいるという認識）が備わっていないと、劣等感にさいなまれ、成長とともに自己肯定感が低下していく

## ◆子どもの正しいほめ方 6つのルール

- 1 「ダメだし」は我慢して、まずは「ほめる」
- 2 タイムリーにアクションをつけて、ほめる
- 3 具体的な内容を伝えながら、ほめる
- 4 「能力や結果だけをほめる」ことは避ける
- 5 無理にほめず、事実や気づきをそのまま伝える
- 6 「自分で自分をほめる」ことを教える